

神奈川県立新城高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和7年度 神奈川県立新城高等学校 第3回 学校運営協議会
開催日時	令和8年3月24日(火) 15:00
開催場所	本校 会議室
出席者	明治大学大学院教授:湯淺壘道、川崎市立西中原中学校長:田中眞砂美 本校PTA会長:金澤直美、本校元PTA・城親会会長:岩田和人、同窓会・城友会会長:平田克男 本校校長:八柳誠一郎
会議資料	・令和7年度 新城高等学校 第3回学校運営協議会次第 ・令和7年度 新城高等学校 学校評価報告書(実施結果) ・令和7年度 新城高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等 ・会報新城 最新号
議事録	1 校長あいさつ 2 令和7年度学校目標の校内評価 ・(進路G) 課題探究に改善の余地はある。今年度は選挙に合わせて校内で模擬投票を実施した。投票率も高く、生徒たちはわくわくしながら取り組むことができた。 ・今後は多様な選択肢に対して生徒たちのニーズに応える進路指導をしていきたい。 ・(教務G) 成績処理日程を余裕あるものに変更した。 ・学習評価に係る研究について、今年度はよりシンプルに進めた。学びの調整力向上のため授業における手立てを検討・実践し、教科内外での共有ができた。 ・(活動G) googleClassroomなどを活用し情報発信を積極的に行った。 ・(生活G) サポートドックの活用で悩みを抱えた生徒への支援を行った。今後もSC、SSWと連携しながら支援体制を整えていきたい。 ・(広報G) 施設見学会、学校説明会を通して1年を通じて延べ2,000組が来校した。部活動体験見学会を夏休み中に行ったことで熱中症のリスクがあるため来年度は秋の実施を考えている。 ・来年度も中原支援学校と連携しパラスポーツの体験活動を行っていく。 ・(管理G) 安心安全な生活のための避難訓練は毎年避難経路を変えながら行っている。防災委員に防災についての発表をさせることにより意識の向上につながっているのではないかと考えている。 3 令和7年度学校評価における学校関係者評価 ・理系の人材育成を進めようという雰囲気がある。早めに私大文系に絞らないことが進路選択の幅を広げることにつながる。 ・実質的な倍率、難易度も下がっている。動向を見て進路指導をしてほしい。 ・生徒のメンタル面への対策について、多様なバックグラウンドを持つ生徒についての対応についてどのような支援をしているか。→ケース会議を開くなどして個々の生徒に応じた支援を行うようにしている。 ・AIを高校の教育に持ち込むことについてどう考えているのか。→情報の授業でCANVAのAIを活用した授業を行った。限られた範囲で活用していく認識が必要である。 ・パワーポイントの作成にAIを活用している教員もいる。ファクトチェックは必要である。 ・会計処理は教員が担わなければならないのか。→業務アシスタントが銀行に行くのでその部分での教員の負担は軽減している。 ・地震、火災だけでなく交通においては何かされているのか。→スケアードストレイトを今年度は実施した。 3 不祥事ゼロプログラムの検証等について ・その時期に合わせたトピックスを取り上げて、チェックシートで確認を行ったり事故防止につながる研修を行ってきた。 ・沖縄での修学旅行の事故があったが、学校行事の法令順守はどうなっているのか。→不祥事ゼロプログラムの業務執行体制の確保等にあてはまるのではないかと考えている。 ・会計業務について現金引き出しから時間が経っている、様式違い、などは監査で指摘を受けやすい。年間を通して適正な執行を呼びかけ、管理をしていきたい。